

LPガス供給確保に全力 東日本大震災



国備LPガス4万トンの放出準備中の神栖基地（24日午前11時半頃）



LPガス輸入船の棧橋先端から数十メートルの浅瀬に座礁した大型鉄鉱船石運搬船（左）と打ち上げられた約1トン。海難事故の可能性もある。（24日正午頃）

エネ庁 近く国備放出開始へ 鹿島共備にLPガス4万トン

東日本大震災の影響が、茨城県の鹿島港を拠点とするLPガス輸入基地から東日本地域に波及した供給不足に陥る事態に及び、国家備蓄LPガスの初放出が準備されている。近く放出が開始される見通しだ。資源エネルギー庁石油流通課は23日、神栖市にある神栖国家LPガス備蓄基地から、隣接する鹿島液化ガス共同備蓄（本社・東京、山田豊社長）の鹿島事業所へLPガス4万トンの放出に向けて準備中であることを明らかにした。域内、域外からの輸送体制強化や供給基地の機能回復なども進めており、LPガスの供給確保に全力を挙げている。

日本LPガス協会（古）したもので、東日本地域で、東日本大震災の影響が、茨城県の鹿島港を拠点とするLPガス輸入基地から東日本地域に波及した供給不足に陥る事態に及び、国家備蓄LPガスの初放出が準備されている。近く放出が開始される見通しだ。資源エネルギー庁石油流通課は23日、神栖市にある神栖国家LPガス備蓄基地から、隣接する鹿島液化ガス共同備蓄（本社・東京、山田豊社長）の鹿島事業所へLPガス4万トンの放出に向けて準備中であることを明らかにした。域内、域外からの輸送体制強化や供給基地の機能回復なども進めており、LPガスの供給確保に全力を挙げている。

鹿島港では大型鉄鉱石運搬船の先端から数十メートルの浅瀬に座礁した大型鉄鉱船石運搬船（左）と打ち上げられた約1トンの鋼材が散らばっている。海難事故の可能性もある。資源エネルギー庁は23日、同日午後8時時点で東北地域最大の出荷拠点でありながら、被災して出荷停止中の仙台北ガス輸入基地（貯蔵容量約20万トン）の再開までを補うことにもなる。鹿島港地区地区埠頭に24日現在、パナマ船籍の1号鋼材（全長289.1メートル）が鹿島共備のLPガス

ローリーを追加投入 供給対策 域外輸送体制も強化

エネ庁は23日、資源エネルギー庁は23日、同日午後8時時点で東北地域最大の出荷拠点でありながら、被災して出荷停止中の仙台北ガス輸入基地（貯蔵容量約20万トン）の再開までを補うことにもなる。鹿島港地区地区埠頭に24日現在、パナマ船籍の1号鋼材（全長289.1メートル）が鹿島共備のLPガス

資源エネルギー庁は23日、同日午後8時時点で東北地域最大の出荷拠点でありながら、被災して出荷停止中の仙台北ガス輸入基地（貯蔵容量約20万トン）の再開までを補うことにもなる。鹿島港地区地区埠頭に24日現在、パナマ船籍の1号鋼材（全長289.1メートル）が鹿島共備のLPガス

車両運行時の義務緩和を 第2回緊急対策会議 燃料不足も依然切実



第2回緊急対策会議の後、卸売事業者が残り容器回収について打ち合わせをした（23日、宮城県管工事会館）

宮城県LPガス協会の小笠原会長は呼びかけで始まった大震災緊急対策会議の2回目が23日、仙台市の県管工事会館で行われた。津波被害を受けた地域の販売事業者などの声が挙がった。18日に行われた1回と同様に、宮城県LPガス協会の小笠原会長は呼びかけで始まった大震災緊急対策会議の2回目が23日、仙台市の県管工事会館で行われた。津波被害を受けた地域の販売事業者などの声が挙がった。18日に行われた1回と同様に、

宮城県LPガス協会の小笠原会長は呼びかけで始まった大震災緊急対策会議の2回目が23日、仙台市の県管工事会館で行われた。津波被害を受けた地域の販売事業者などの声が挙がった。18日に行われた1回と同様に、

の危険性がある。鹿島共備の輸入低温タンク貯蔵能力は合計22万5040トン。同社による22日現在の出荷可能な在庫量はプロパン約2万6000トン、ブタン約1万6000トン。通常出荷量は1日当たりプロパン1千トン程度、ブタン数百トン程度。

エネ庁は15日、民間備蓄LPガス（義務量50日分の放出）について、輸入会社からの個別要望に応じるとして容認していたが、国備LPガスの放出で平常需要と震災復興に向け、LPガスの供給安定力は、強固にならなければならない。

特別紙面
（10頁）として発行します。1～5面報道特集、6～7面GHJ版、8面東日本版（総合・北海道・首都圏・中部・9面中国版、10面西日本版）（近畿・四国・九州・住友のエリアを中心）に収録しました。記事が重複したことがありますが、一部地域では、定日配送が困難な状況となつております。対応の一環として新聞データ当社ホームページ上にPDFファイルで公開してあります。大震災による安全確認を中心とした掲載も掲載しました。ご利用下さい。

春季特集号は4月25日（月）の発行予定です。

■神栖国備基地
石川ツトムら約3万台、カセットボンベ約1万本を発送準備。うち、カセットボンベ約1万台、カセットボンベ約6万本をセッティングして、仮設住宅向けLPガス供給では、若手・宮城・福島各県と緊密に連携して仮設住宅建設に対応し、LPガスを供給できるように支援策を講じている。

4団体に支援要請 安定供給 機器調達など

LPガス協会がLPガスポンプ約3千本（約100トン）、ガスコンロ約500台の発送準備している。また、岩谷産業が仙台市の仙台医療センターに5000人分のガスボンベなども無償で提供した。日協、LPガス協会、岩谷産業、日本LPガス協会など4団体に、LPガスの安定供給やLPガス機器などの支援要請を文書で要請した。日協、LPガス協会、岩谷産業、日本LPガス協会など4団体に、LPガスの安定供給やLPガス機器などの支援要請を文書で要請した。日協、LPガス協会、岩谷産業、日本LPガス協会など4団体に、LPガスの安定供給やLPガス機器などの支援要請を文書で要請した。

精溜塔

なにか鉛の塊でも飲んだらどうなるか。余震、福島第一原発、計画停電、電車の間引き運搬、買入れ、野営、水道水の放射能汚染、東京に住んでいてさくらんぼが、被災地ではどんなに辛い時間が流れていることだろうか。それにしても心配なのが原子炉の復旧状況だ。最新の機材と知恵を集めて決死の作業を試みるチームには心から敬意を表したい。世界中が祈るような気持ちで解決を待っている。そういって胸の熱くなる関係者や電力会社の努力を百も承知で、どうしても言いたいことがある。自然の摂理に逆らう存在だということである。万が一のときの暴走を防止しないのだ。ところで、東京電力によると、管内9都県のオール電化住宅は昨年未時点85万5千戸に達したという。02年3月末では1万3千戸だったから、この9年間で65倍強に拡大している。これは原発ラッシュに相当するだろう。この驚異的な増加は他エネルギーを駆逐し、テレビCMなど外れの物理作戦でオール電化を推進してきた結果である。ほかにエネルギーがないわけじゃない。電気、ガス、灯油など、それぞれ得意分野で棲（す）み分けしたのに、それをオンリーワンにしてしまっただけで、強引には改めて首を傾げざるを得ない。かといって、では火力発電という議論にもならない。このマージナル電源は低炭素社会実現という世界の潮流に逆行する。いずれも両刃の剣である。LPガスは最も適切なエネルギーを真剣に考えるべきである。

ピットレス非水槽式 自動耐圧試験・乾燥装置

【対象容器】
5～50kg、60kg、シームレスアルミ、サイホン（以上、自動）
フォークリフト用、ミニ

- ピットレス型で、工事費抑制、工事期間短縮
- ステンレス製コンベア 長期間使用で腐食しない
- 容器サイズを検知し、注水・乾燥時間を自動設定
- タッチパネルで制御条件を変更、状態確認
- 手前側開放のため、メンテナンスが容易
- 充填データ、マーキング機対応

FLWM 株式会社 7D-L

本社 〒577-0066 大阪府東大阪市高井田本通4-7-8 TEL.06-6783-2102 FAX.06-6789-7022
関東 〒345-0033 埼玉県北葛飾郡杉戸町佐左門734 TEL.0480-36-5556 FAX.0480-36-5557

このたびの東日本大震災で被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

現在、石油製品の供給におきまして、被災地のみならず広範囲の方々に多大なご迷惑とご心配をおかけしております。早期の復旧に向けて、できる限りの努力をして参りますので、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

JX日鉱日石エネルギー株式会社